

## 命を学ぶ ～ 私たちはどう戦うか ～

### 校長室の窓から

「命を学ぶ」 このことを意識したのは、六日市中学校の教頭時代、六日市病院の谷浦博之院長との出会いによってでした。

六日市中学校に赴任してすぐのころ、谷浦院長が学校を訪問されました。総合の時間で学んでいる「地域医療」の打ち合わせだろうと思ってお迎えすると、話は全然違う方向へ――

「校長先生、教頭先生、アメリカ心臓協会が認定する救命救急資格を、職員・生徒全員に取得させないか。費用は全額私が持つ。」と、いきなりの宣言。

テキスト代と講習費用、それから認定費用を合わせると、その総額は40万から50万円。

院長、なんでまた？

だいたい、毎年のように心肺蘇生法講習を受けているから救命救急はできるし・・・そのお金、別のことに使わせて。なんて思いながら、生返事をすると、隣に座っていたK校長が、いきなり、

「やりましょう！」と言い放つ。

いやいや、待ってください校長先生・・・という間もなく、二人でとんとん拍子に話が出来上がる。

・・・ああ、これは「いけない二人」を出会わせてしまった・・・と、後悔。

しかし、やると決まったからには、その資格とやらがどんなものか、自分で確かめてみよう。と、み

んなに内緒で、無謀にも上位の資格講習を受けてみました。で、180度の方向転換。

命に関する学びと救命の技術は、生半かなものでは役に立たない。そんな「あたりまえ」を知ること。そして何よりも、必死についていったこの講習をきっかけに、守るべき命にたいして、何か実感のようなものがわいてきました。

今、新型コロナウイルス感染症が、私たちの生活を脅かしています。私たちは、感染症やコロナウイルスについて何を知っていて、何を知らないのでしょうか。自分と他人の命を守る行動や考え方が身についているでしょうか。そして、リスクの管理ができているでしょうか。

日々更新される感染者数。

「これは戦争です。」と言う専門家たち。

私たちは、丸腰でこのウイルスが消滅するのを祈りつづけるわけにはいかない。ワクチンや特效薬という有効な武器は何も持っていないけれど、知恵を働かせ、先を読み、先手を打たなくてはいけないと強く思います。

#### 山中伸弥による新型コロナウイルス情報発信

HOME 新型コロナウイルスとは 証拠(エビデンス)の強さによる情報分類 5つの提言 世界の対応

専門家、書籍から学ぶ 科学論文で学ぶ データから学ぶ 報道から学ぶ 動画で学ぶ

新型コロナウイルスとの闘いは長いマラソンです。都市部で市中感染が広がり、しばらくは全力疾走に近い努力が必要です。また、その後の持久走への準備も大切です。感染が拡大していない地域も、先手の対策が重要です。私たちが一致団結して正しい行動を粘り強く続ければ、ウイルスは力を失います。自分を、周囲の大切な人を、そして社会を守りましょう！

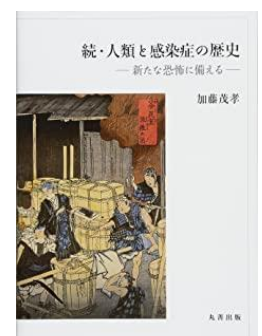
#### ② 新着情報

2020.04.14	死亡例、重症例の年齢分布
2020.04.14	ワクチン開発の現状と見通し
2020.04.14	治療薬に関する米医師会誌の解説
2020.04.14	人との距離を空けよう！(動画)
2020.04.13	黒木重克先生の鮮折を更新

#### ③ 今、求められる対策は？



『感染症をめぐる54の話』  
東京警察病院 感染制御対策室



続・人類と感染症の歴史  
加藤茂孝

ノーベル賞科学者 山中伸弥 博士が開設している特設サイト  
<https://covid19-yamanaka.com/>